

# 研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP)

# A-STEPとCOI STREAMの連携

**平成25年度のA-STEPは、革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)と連携し、COI STREAM で設定されるビジョンに沿って公募を行います。**

## 【ポイント】

- A-STEPで採択された課題のうち、COI STREAMとの連携やCOI STREAMで推進するテーマへの貢献が特に期待できると評価される課題に対しては、COI拠点への移行をお願いする場合があります。
- COI拠点構想に応募のあった提案の中で、当面A-STEPで実施する事がより適当と思われるものについては、A-STEPで採択を行う場合があります。

# COI STREAMの全体スケジュール

4月

5月

6月

7月

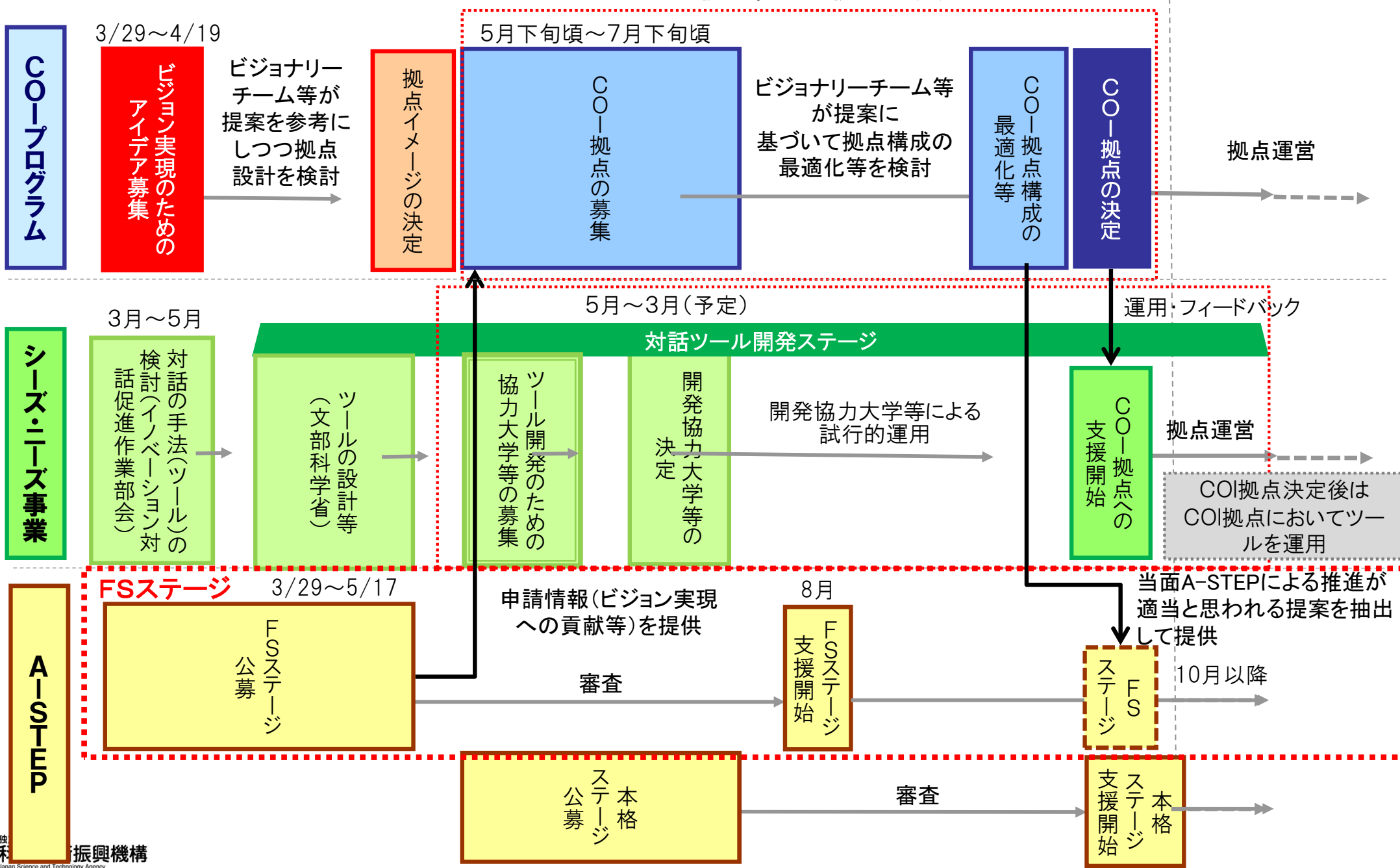
8月

9月

10月

平成26年3月

## COI拠点募集～拠点の決定



# COI STREAMの全体スケジュール

4月

5月

6月

7月

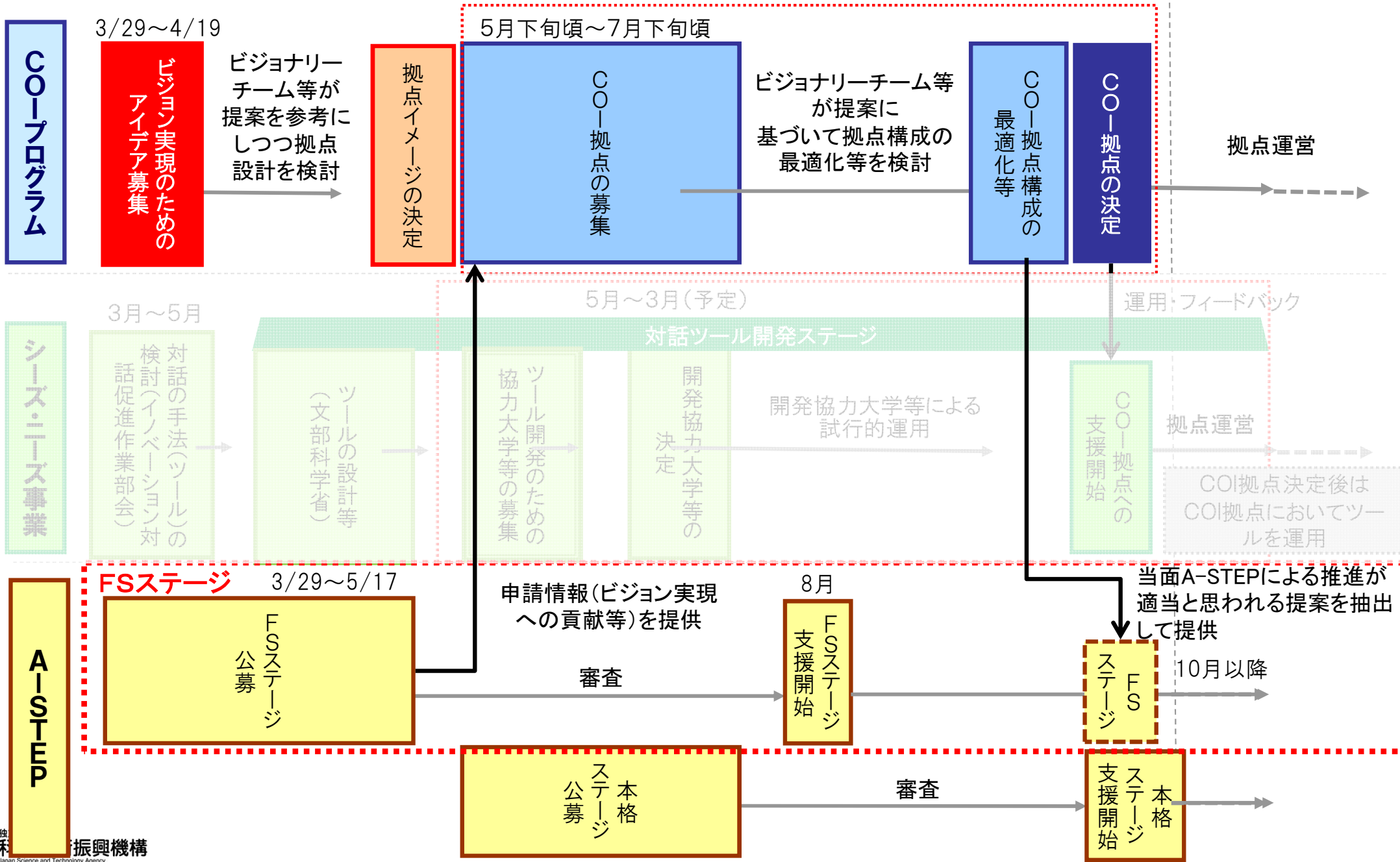
8月

9月

10月

平成26年3月

## COI拠点募集～拠点の決定



# COI STREAMの全体スケジュール

4月

5月

6月

7月

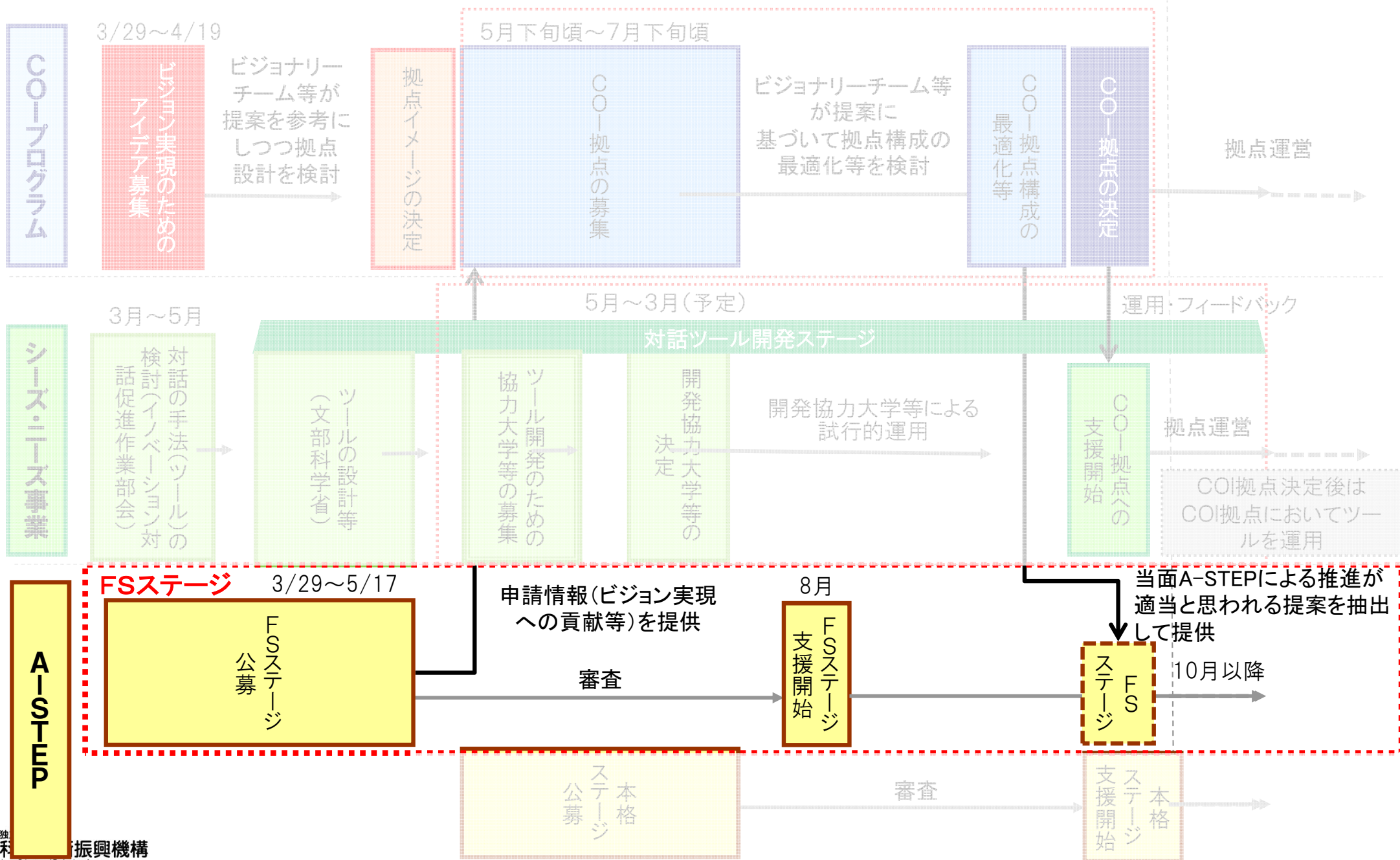
8月

9月

10月

平成26年3月

## COI拠点募集～拠点の決定



# FSステージにおけるCOI STREAM との連携

1. FSステージでは、公募対象となる研究分野をCOI STREAMの**3つのビジョン**に沿って設定します。

## 【ビジョン】

- 少子高齢化先進国としての持続性確保: Smart Life Care、Ageless Society
- 豊かな生活環境の構築( 繁栄し、尊敬される国へ ): Smart Japan
- 活気ある持続可能な( Active Sustainability )社会の構築

2. 申請する研究開発課題が、ビジョンにおいて、「**どういう役割で何を解決することが期待されるか、あるいは何に貢献できることが期待されるか**」を記載いただきます。
3. 審査の観点の一つに、「**研究成果が応用展開された際に、いずれかのビジョン案の実現につながり、社会還元に導かれる事が期待できること**」を設定します。

# FSステージにおけるCOI STREAM との連携

## 公募要領上の主な関係事項

- 採択課題決定後、JSTはプログラムオフィサー（PO）等を核とした支援体制を構築し、研究開発の進捗状況等について必要な調査や評価等を実施します。  
その結果、COI STREAMとの連携やCOI STREAMで推進するテーマへの貢献が特に期待できると評価される課題に対しては、COI拠点への移行をお願いする場合があります。全ての採択課題に移行の可能性があり、COI拠点決定後（10月以降を予定）に移行候補となる課題を決定します。移行に際しては、研究期間延長やその際の研究費追加、およびJSTによるCOI拠点とのマッチング等を行うことで、COI拠点との連携を促します。  
また、COI拠点決定時点では対象とならなかった課題に関しても、その後の研究開発の進捗状況によってCOI拠点の一部への移行対象となる事があります。
- COI プログラムで拠点構成の最適化等を検討する際の参考として、申請情報（ビジョン実現への貢献等）をCOI STREAMのビジョナリーチームに開示する場合があります。

# 研究成果最適展開支援プログラムA-STEPの目的・特徴

大学と企業のマッチングの段階から企業との本格的な共同研究開発に至るまで、課題ごとの「研究開発段階」や「開発リスク」に合わせた最適なファンディング計画を設定し、大学等の研究成果を実用化につなぐための産学共同研究に対する総合的な支援を実施。

## ✓ 研究開発フェーズのどの段階からでも申請可能

4ステージの公募窓口を一本化  
課題の内容に適したタイプを選択して申請

## ✓ 異なるタイプの支援をシームレスに実施可能

複数の支援タイプを組み合わせて、長期の研究開発が実施可能  
※但し、異なる支援タイプに移行する際は支援継続の是非を判断する評価を実施

## ✓ 研究開発の効率性アップのため研究開発計画のアドバイス

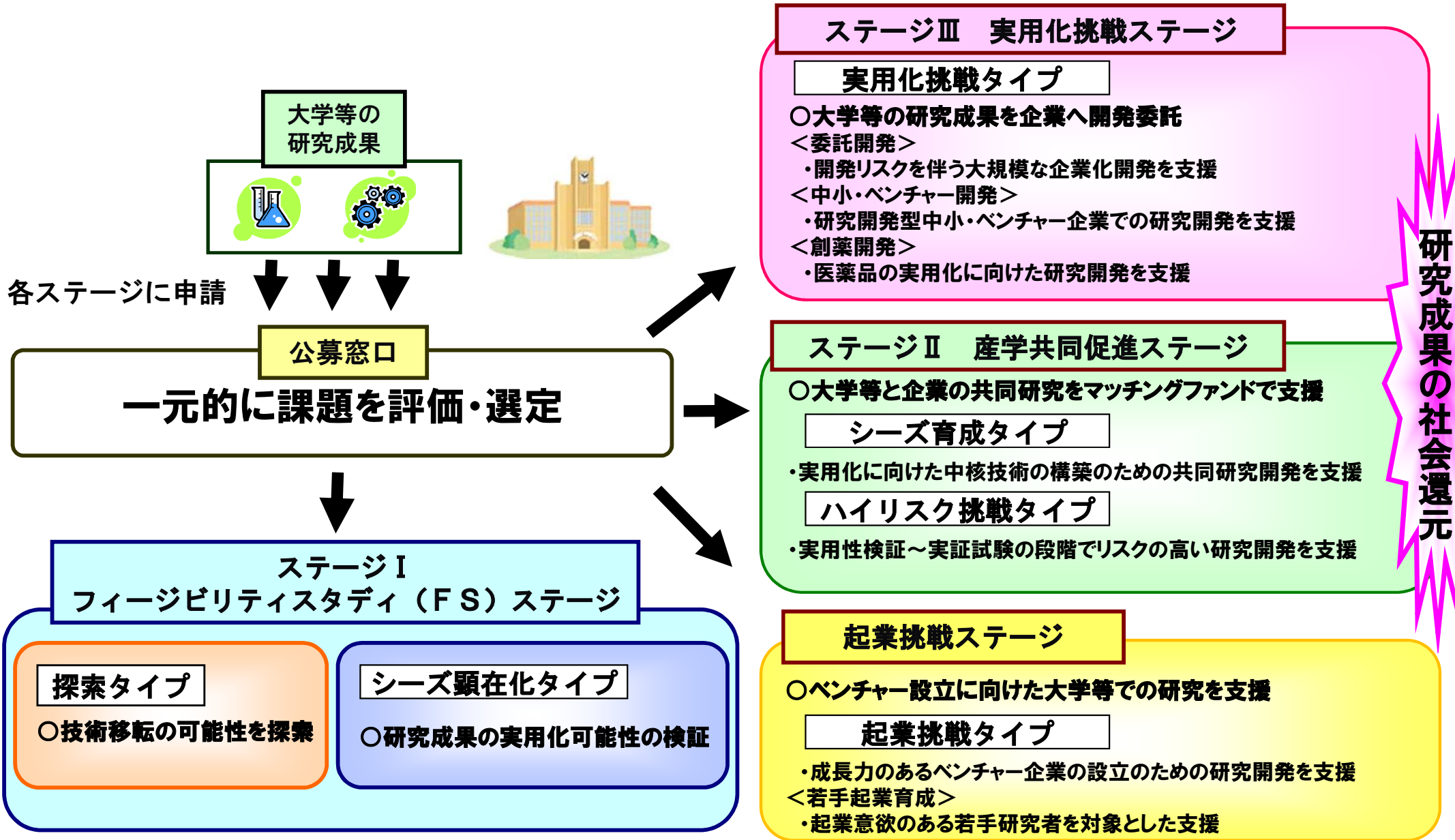
効果的・効率的な研究開発実施のため外部有識者・JSTによる研究計画の最適化を図ります

### A-STEPの意味

Adaptable and Seamless Technology Transfer Program through Target-driven R&D



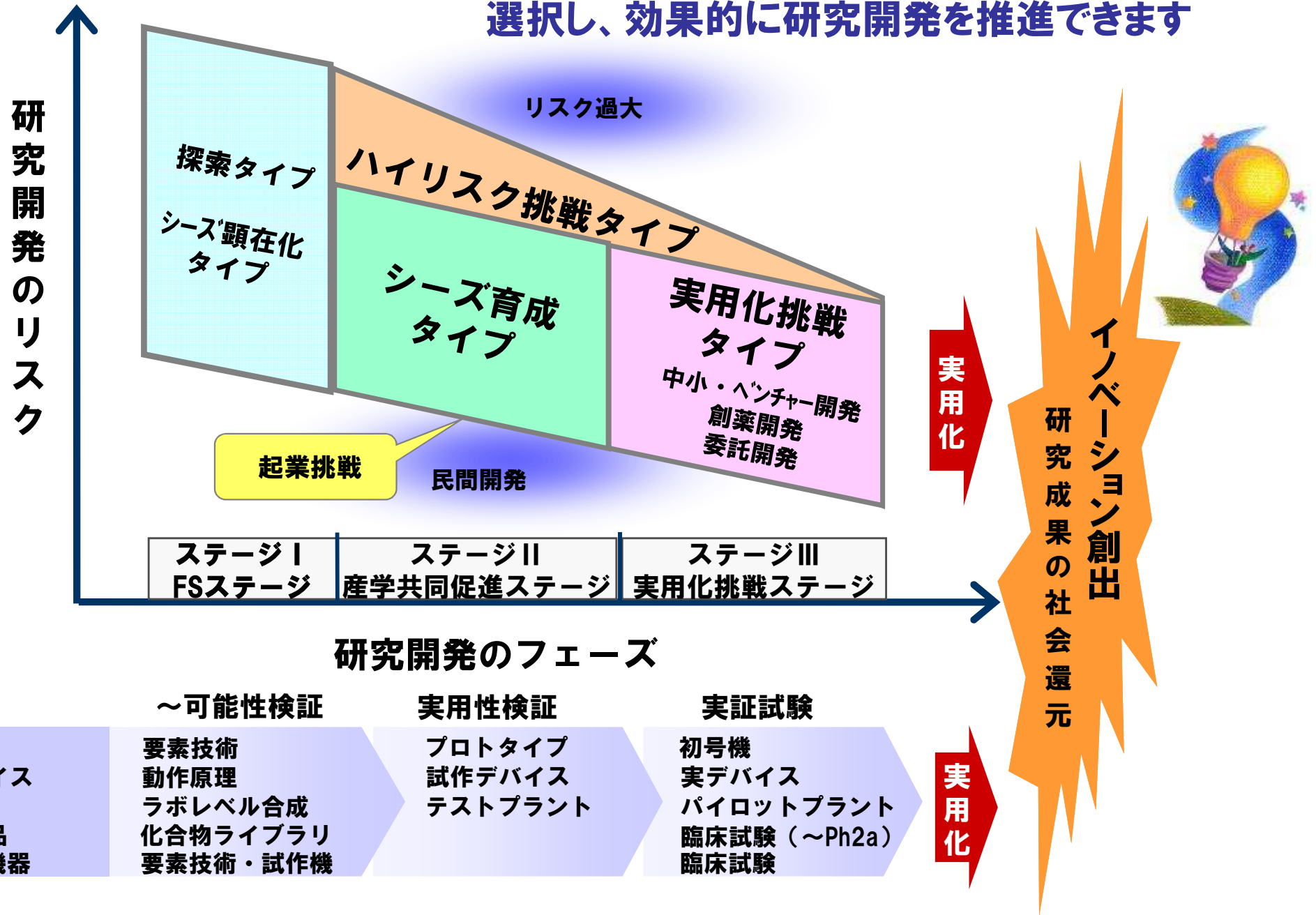
# 研究成果最適展開支援プログラムA-STEPのスキーム



※起業挑戦タイプ応募課題うち、起業挑戦タイプの採択のレベルには達しないものの一定の評価が得られた応募課題に関しては、起業挑戦タイプ(検証試験)として採択することがあります

# 支援タイプの対応図

研究開発フェーズとリスクに応じた支援タイプを選択し、効果的に研究開発を推進できます



# A-STEP 支援タイプ表

ステージ		ステージⅠ フィージビリティ スタディ (FS)		起業挑戦		ステージⅡ 産学共同促進		ステージⅢ 実用化挑戦		
支援タイプ		探索	シーズ顕在化	起業挑戦		ハイリスク 挑戦	シーズ育成	実用化挑戦		
サブタイプ				研究者 コーディネータ等 企業の研究開 発関係者の協 力がある場合は 研究者	研究者 企業			研究者 起業家 起業支援機関	研究者 起業 支援機関	研究者 企業
申請者の要件 (共同申請)		研究者 コーディネータ等 企業の研究開 発関係者の協 力がある場合は 研究者	研究者 企業			研究者 起業家 起業支援機関	研究者 起業 支援機関			
研究 開発 規模	基準額 (上限額) 間接経費込	基準額 170万円 (~300 万円)	基準額 800万円 (~1000 万円)	1億5000 万円 (総額)	4500万円 (総額)	JST支出総額 6000万円	JST支出総額 2億円	3億円 (総額)	10億円 (総額)	20億円 (総額)
	開発期間 (最長)	原則1年度	原則1年間	最長3年間		最長3年間	最長4年間	最長5年間	最長5年間	最長7年間
開発費の性格		グラント	グラント	グラント		マッチング ファンド	マッチング ファンド	売上げに応じて 実施料を納付		成功:開発費10年 年賦返済 不成功:90%返済 免除 売上げに応じて実 施料を納付

# 平成25年度FSステージ公募の概要

**公募対象:**      **ステージⅠ FSステージ**  
                    **(探索タイプ、シーズ顕在化タイプ)**

**採択予定課題数:**

**探索タイプ:500課題程度**

**シーズ顕在化タイプ:50課題程度**

**※ただし、課題の規模等により変動する可能性があります**

**公募・選考スケジュール:**

**3月29日(金)                      募集開始**

**5月17日(金)正午                募集〆切**

**<探索タイプ>**

**5月末～7月頃      評価委員会による選考**

**8月頃                      契約締結後研究開発開始(予定)**

**<シーズ顕在化タイプ>**

**5月末～8月頃      評価委員会による選考**

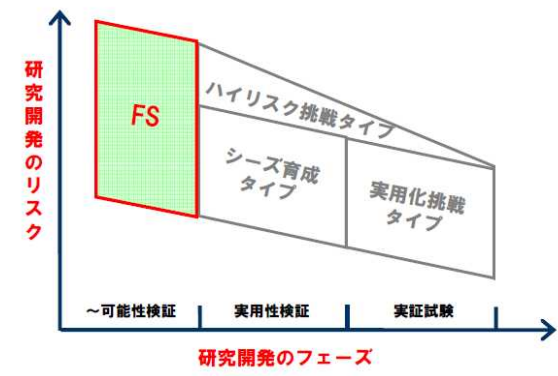
**9月頃                      契約締結後研究開発開始(予定)**

# フィージビリティスタディ

## 探索タイプ

### Ⅰ 研究開発フェーズ・主旨

大学等の研究者と各種コーディネータ等が対話を通じて、基礎研究のうち技術移転の可能性を探索すべく課題について実用化に向けた研究開発を支援するとともに、コーディネート活動を促進することを目的としています。



### Ⅰ 研究開発資金

基準額170万円（間接経費含む）

特段の事情がある場合に限り、理由を付して、総額300万円まで申請可。←審査の対象とします。

### Ⅰ 研究開発期間（原則）

1年度

### Ⅰ 応募の要件

(1)研究責任者（大学等の研究者）とコーディネータ等の共同申請

(2)企業の研究開発関係者のコメントを付した研究責任者の申請

e-Radでの申請は、(1)ではコーディネータ等が代表して行う。(2)では研究責任者が行う。

※同一の研究責任者による複数の課題申請は認めません。

### Ⅰ 選考方法

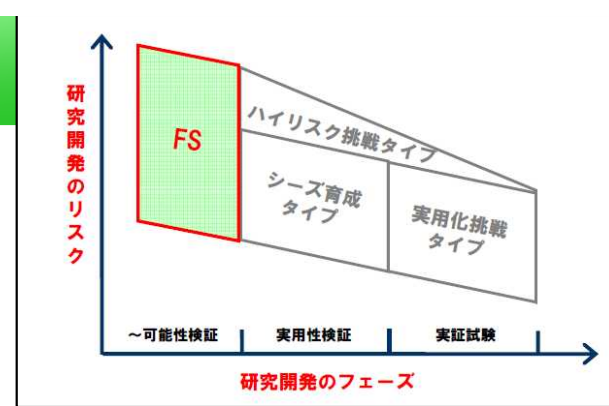
書類審査のみ

※書類審査による評価の精度を上げるため、e-Radの研究分野コードの他に探索タイプ専用のキーワード記入欄を設けています。

ご理解の上、両方とも記入いただけますようお願いいたします。

# フィージビリティスタディ

## シーズ顕在化タイプ



### 研究開発フェーズ・主旨

大学等の基礎研究のうち産業界の視点（企業ニーズ）で見出されたシーズの候補を対象に、シーズとしての実現可能性を産学共同で検証する挑戦的な研究開発を支援

### 研究開発資金

基準額800万円（間接経費含む）

基準額を超える申請（総額1,000万円を上限）は別途審査対象

### 研究開発期間（原則）

1年間

### 応募の要件

企業責任者（研究開発実施企業）と研究責任者（大学等の研究者）の共同申請。企業責任者が研究開発代表者となる

### 選考方法

書類審査のみ

### 備考

今年度より、申請書類はすべてeRadから提出

# フィージビリティスタディ

## COI STREAMに関する申請書の記載事項

### 【探索タイプ】

- COI STREAM のビジョンにおいて、申請する研究開発課題がどういう役割で何を解決することが期待されるか、あるいは何に貢献できることが期待されるか、についてプロジェクトリーダーご自身の言葉で記載いただきます。
- コーディネーターまたは企業の研究開発関係者の方からも上記についての見解を記載いただきます。

### 【シーズ顕在化タイプ】

- COI STREAM のビジョンにおいて、申請する研究開発課題がどういう役割で何を解決することが期待されるか、あるいは何に貢献できることが期待されるか、についてプロジェクトリーダーご自身の言葉で記載いただきます。

## 審査の観点

- ① 課題の独創性(新規性)及び優位性
- ② 目標設定の妥当性
- ③ イノベーション創出の可能性  
(COI STREAMのビジョン実現への貢献については、本項目で審査します)
- ④ 提案内容の実行可能性

選考方法は書類審査のみです



# 採択実績

## ○申請件数・採択件数と倍率

平成24年度第1回公募（平成24年2月21日～4月5日）

タイプ名	起業挑戦タイプ		ハイリスク 挑戦タイプ	シーズ育成 タイプ	実用化挑戦タイプ		
		若手起業 育成			中小ベン チャー開発	創薬開発	委託開発
申請件数	34	10	119	36	50	10	1
採択件数	3	0	33	13	5	1	0
倍率	11.3	—	3.6	2.8	10.0	10.0	—

平成24年度第2回公募  
（平成24年6月1日～7月31日）

タイプ名	探索タイプ	シーズ顕在化タイプ
申請件数	3,634	742
採択件数	1,123	124
倍率	3.2	5.9

平成24年度第3回公募  
（平成24年7月17日～9月28日）

実用化挑戦タイプ
委託開発
17
1
17.0

# 申請方法

◎府省共通研究開発管理システム(e-Rad)による応募  
<http://www.e-rad.go.jp/>

◎申請に先立ち、**研究開発機関の登録が必要**です。

登録手続きは日数を要する場合がありますので、2週間以上の余裕を持って登録手続きを行って下さい。一度登録が完了すれば、他制度での応募の際再度登録する必要はありません。また、他制度で既に登録済みの場合、再度登録する必要はありません。

なお、長期に渡りe-Radへログインしていないと、何らかの不具合でログインできない場合があります。その際の諸手続きも日数を要しますので、研究開発機関登録済みであっても、e-Radへログインできるか、予めご確認ください。

◎申請書類(様式)の入手方法

JSTホームページからダウンロードできます。

<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/index.html>

◎A-STEP用e-Rad申請マニュアル

公募要領内の「e-Radを利用した申請書類の作成・提出等」の操作方法を参考に申請ください。

◎応募時の押印の必要性

FSステージは申請時の押印が不要です。

**ご静聴ありがとうございます。**

**お問い合わせ先：**

**独立行政法人 科学技術振興機構 A-STEP募集窓口**

**URL : <http://www.jst.go.jp/a-step/>**

**e-mail: [a-step@jst.go.jp](mailto:a-step@jst.go.jp)**

**Tel:03-5214-8994**

**Fax:03-5214-8999**